

## 金田小児童3、4年生がオペラに出演

演技の楽しさを体験した子どもたち



「おんともくらぶ」とオペラに出演した金田小の皆さん

7月11日、厳原町の金田小学校（全校児童36名）体育館でオペラ「ヘンゼルとグレーテル」が上演され、同校の3、4年生児童9名が長崎市から来たグループ「おんともくらぶ」のメンバー6名と共に舞台上に立ちました。この公演は、子どもたちの芸術への関心を高めてもらおうと文化庁が行っている「学校への芸術家等派遣事業」の一環で行われたものです。

出演に先立ち、メンバーから発声や演技の指導を受けた子どもたちは、本番では魔女に魔法をかけられた子ども役として出演し、緊張した様子も見せずピアノの伴奏にあわせて大きな声で歌い、ダンスを披露しました。

保護者や地域住民など、大勢の観客から温かい拍手を浴びた子どもたちは、「緊張はしなかった。楽しかったです」と口々に話し、人前で演じることの楽しさを感じていたようでした。

隠れた対馬の名所を巡る

## つしま HOT SPOT



### 和多都美神社と「命婦の舞」

和多都美神社は、彦火火出見尊と豊玉姫命を祭る海宮で、海神社の一の宮として古くから竜宮伝説が残されています。

本殿正面から5つある鳥居のうち2つは海中にそびえています。潮の干満によりその様相を変え非常に神秘的です。満潮時には写真のように台座まで隠れてしまいませんが、干潮時には写真の鳥居まで歩いて行くことができます。

最初に述べたように、ここは海神社であるため、新しく造られた船は神社前の海で安全祈願を行っていたとのこと。

和多都美神社では、9月11日（旧8月1日）に古式大祭が行われ、国選択無形民俗文化財の「命婦の舞」が奉納されます。この「命婦の舞」は対馬に伝わる巫女舞で、起源は中世以前と考えられています。手に神楽鈴を持って神楽歌を歌いながら四方に舞うもので、日本の芸能史上でもっとも古い形態の舞いと評されているものの一つです。

また、9月15日（毎年旧8月5日）の木坂海神社大祭でも奉納されます。

日本最古の舞いと言われる「命婦の舞」を、ご覧になられてはいかがでしょうか。

### 【お知らせ】

観光交流課では、みなさんからの情報をお待ちしています。「こんなところがあるよ」などの情報がありましたら、ドシンドシお寄せください。

対馬市役所観光交流課

0920(53)6111

FAX 0920(53)6122

メールアドレス

asightseeing@city\_tsushima.jp